



## 未病改善にマグロが効くか検証します

国内初！セレノネインのヒトへの有効性を臨床試験により検証

学校法人聖マリアンナ医科大学、神奈川県、国立研究開発法人水産研究・教育機構は、抗酸化物質セレノネイン(注)を多く含むマグロを継続的に食べることによる、生活習慣病対策やアンチエイジングなどのヒトの未病改善へのセレノネインの有効性を検証する共同研究を開始します。

### 1 研究により期待される効果

セレノネインを多く含むマグロを食べることによる生活習慣病対策やアンチエイジングなど県民の未病改善への効果が明らかになれば、マグロやその加工品の消費拡大、マグロを用いた新商品の開発等が期待されます。

### 2 三つの機関が連携して実施

未病改善の研究に取り組んでいる聖マリアンナ医科大学、マグロで有名な三崎漁港を擁し水産加工品の開発など県内水産業の振興に取り組んでいる神奈川県、そしてセレノネインを発見した水産研究・教育機構が連携し、セレノネインのヒトの未病改善への有効性を検証します。

<各機関の主な役割>

聖マリアンナ医科大学：セレノネイン摂取による老化抑制効果の検証

神奈川県：研究統括、食品としてのマグロがもつ抗酸化力評価、抗酸化力の高い水産加工品開発

水産研究・教育機構：セレノネインの正確な分析

### 3 具体的なスケジュール

令和3年9月以降 試験参加者の募集、臨床試験の開始

令和4年5月 食材を改良した臨床試験を開始

令和5年3月 概要の取りまとめ

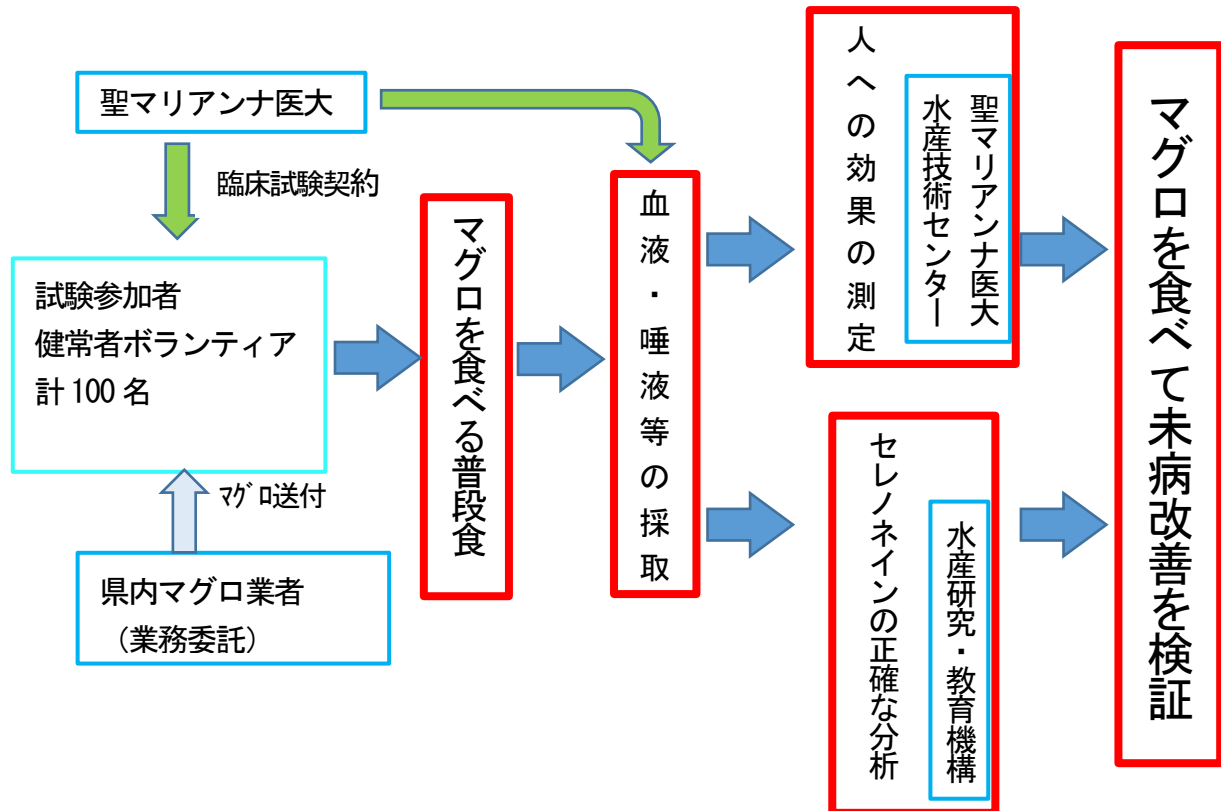
令和5年秋以降 学術論文および公表

(注) セレノネインは、活性酸素を除去する機能の高い物質で、生活習慣病対策やアンチエイジングなどが期待されています。(出典:平成21年度中央水産研究所主要研究成果集「研究のうごき第8号」)

注意:マグロ(クロマグロ、メバチ、ミナミマグロなど)は、「妊婦への魚介類の摂食と水銀に関する注意事項」により、妊娠期間中に食べる量が定められています。

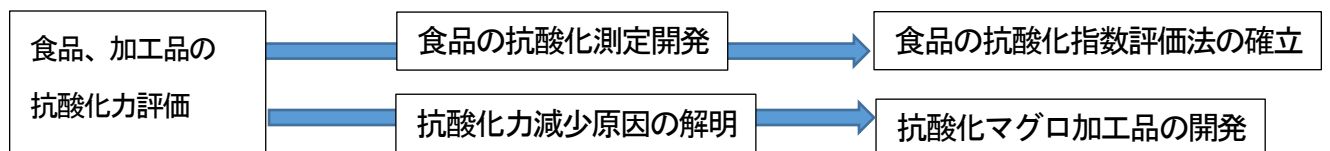
○ 研究計画の概要

食事として、1週間に3食(1食あたり 80~120g)を、3週間継続して摂取し、血中に蓄積するセレノニン濃度、老化抑制を行う遺伝子の活性、血液中のストレス度について血液、口内粘膜及び唾液の採取により測定を行う。



○ 抗酸化食品の開発

体に良い食品(料理)の新たな指標として、『総合的な抗酸化力』による評価手法について検討する。



○ 共同研究体制

	聖マリアンナ医科大学	神奈川県	国立研究開発法人 水産研究・教育機構
役割分担	老化抑制効果の検証	総括 血液の抗酸化能(ストレス) 測定 マグロの抗酸化力評価と加工品開発	セレノネインの正確な分析
主任研究員 ☆研究代表者	難病治療研究センター ☆遊道和雄 センター 長・大学院教授 診断治療法開発・創薬 部門 唐澤里江 准教授 杉下陽堂 准教授	水産技術センター ☆臼井一茂 企画指導部利用加工担当 主任研究員 (コーディネーター)	水産大学校水産学研究科 ☆山下倫明 教授 水産技術研究所 環境・応用部門水産物応 用開発部 山下由美子 主幹研究 員 世古卓也 研究員